

10月16日 朝礼にて 校長講話

今日はこんな天気だけれど、朝の歌が先週より大きく歌えたようでとてもうれしく思いました。

今日は、ある記念日のお話をします。1年中いろんな記念日があるよね。例えば、10月10日は何の日ですか。あれ？わからない？目の愛護デーです。1010を横に書くと眉毛と目に見えるという形から決まった日だよね。じゃあ、6月4日は。そう、むし歯予防デーです。これは語呂合わせで決まった日なんだよね。

では、今日、10月15日は「助け合いの日」という記念日なんです。これは1965年に決まって、普段から身の回りの人と助け合っていきましょう、地域のボランティアに積極的に参加しましょうという意味が込められた記念日なんです。助け合いというと、遠く離れた人に何かすごいことをしないといけないように思うかも知れませんが、そればかりではありません。

今月、赤い羽根共同募金があるよね。募金に参加する。これも自分からできる助け合いだと思います。それから、9月に4年生が「助け合いのパワーを高めよう」という取り組みをしたんだよね。どうだったかな。やってみてどう思った？「ちょっとだけ助け合いの力がついたと思う」「キャンプの時、疲れている人に声を掛けることができた」。助け合いというと、すごいことに感じるけれど、まずは身の回りの人、学級の人、なかま班の人、通学班の人、家族、そんな身近な人の手助けをしたり声を掛けたりすることも広い意味での助け合いだと思います。周りの人が過ごしやすくなるように考えることが大切だと思います。

今日は、助け合いの日から、みんなのことを考えてほしいということについてのお話でした。